

— 水の王国 とやま —

● 森の降水 — 豊かな森は緑のダム —

県土面積の約67%を森林が占め、植生自然度（自然度の高い原生林的な植生区域の県土に占める割合）は30.0%と全国平均の18.9%を大きく上回り、北海道・沖縄に次いで全国第3位。本州第1位の緑豊かな県です。

豊かな森林が、降った雨を蓄え、浄化しながらゆっくり地中にしみ込ませ、“緑のダム”として、おいしい水の源となっています。



(漁業者や林業者などが参加した「上下流連携植樹の集い」)

● 川のダム — 多目的ダムで水量を調節 —

降水は梅雨期(6・7月)や台風期(9・10月)に集中し、しかも河川が急流のため、大量の水が有効に利用されないまま海へ流出してしまいます。

そこで洪水調節や水道用水の供給、発電など、いくつかの役割を合わせ持つ多目的ダムの建設が進んでいます。

※ 7河川流域、57ダム、総有効貯水容量 607百万³



(黒部ダム アーチ式ダム)

● 扇状地の地下水

— 富山県の水はミネラルが豊富 —

黒部川や常願寺川などの河川流域には、全国的にも珍しい典型的な扇状地が広がっています。

扇状地の下には、大地に浸透した水を大量に貯える帯水層があり、地下水が時間をかけてゆっくり流れています。

富山県の大地下は、おいしい水を作るために不可欠な、①不純物をろ過する花崗岩と ②水の「うまみ」を高める各種ミネラルが豊富な岩石、の2つの地質が存在する、日本でただ一箇所の場所です。



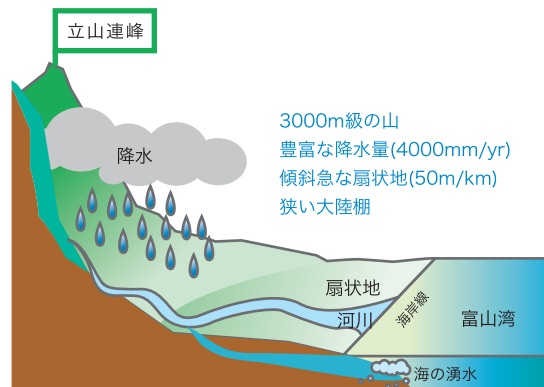
(黒部川扇状地・面積約120km²)

● 海の湧水

— 富山湾の海底から湧水が!! —

扇状地の山で地下にしみ込んだ水は河口近くで湧き水となり、さらにその先の富山湾の海底からも湧き出しています。

富山湾の200～500m沖合いには、豊富な栄養分を含んだ淡水が絶えず海底から湧き出して富山湾の生態系を支えています。



富山大学教授 張 勁 氏 講演「木一本、ブリ千本 — 水の輪が作った奇跡」より